

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



絶対にあきらめない

〜 銚子電鉄の挑戦 〜

千葉県銚子市に1923年（大正12）に開業した、全長6.4kmの小さなローカル鉄道「銚子電鉄」があります。（通称「銚電」）このほどこの銚電の現在の社長である竹本勝紀さんの講演を聞く機会がありました。

【銚子電鉄の紹介】

これまでに幾度もの廃線危機に直面しながらも、その都度『絶対にあきらめない』を合言葉にして乗り越えてきた。本業の鉄道事業赤字を補うため30年前に「ぬれ煎餅」を製造販売。これが人気を博し本業の倍以上の人気商品となる。この他に（経営状況が）「まずい棒」や、生き

残りをかけ鯖をふんだんに入れた「サバイバルカレー」などの食品も手掛けながら鉄道事業赤字を補うという独自の経営スタイルを貫いている。



◆ピンチをチャンスに変える◆

銚電の社員はわずか25名。経営状況は、いつでも崖っぷち。本社の社屋は築100年。中古で購入した車両を大切に使用しており、銚電の最高時速は40km、平均時速は何と20km。あるTVの企画で自転車と競ったところ見事に完敗。電車内の吊り広告は手書き。切符は自動改札ではなく現在でも駅員さんが1枚1枚確認しているそうです。そんな銚電がなぜ度重なる経営危機を乗り越えながら生き残ってきたのでしょうか。

竹本さんは銚電を守るため試みた多くの事例を紹介してくれました。例えば自転車と競争で負けた時も「自転車より遅いが歩くより速い」

「路線にトンネルは1つもないが経営は常にトンネルの中」と発想を転換してPR。言うのは簡単でも、多くの苦労は容易に想像できます。

●合格切符の販売



銚子駅から上り線の先に本銚子という駅があります。そこで切符のキャッチフレーズを自社の苦境も踏まえ「上り銚子から本銚子行き」厳しい冬を乗り越え希望の春へ」として合格切符を販売し大ヒット。

●激辛まずい棒

（経営状況が）「まずい棒」に続き「激辛まずい棒」を販売。よく見てみると小さく激しく辛（つら）いというあり経営状況が更に悪化している局面を逆手にPR。

●位置情報ゲームの開発

鉄道の力で地域を活性化させることを目指し、鉄道をテーマにした

スマホ用位置情報ゲームの開発に取り組む。その名も「ちようし（電鉄）に乗るな」。

他にも夏の「お化け列車」や電車内でレスラーが闘う「電車プロレス」（停車の度に外で場外乱闘）などを開催しいずれも大人気とのこと。

講演の終わりに竹本さんは「たくさん助けてもらった分、これからはありがたい」とお話ししていました。会社がどん底にあったとき、社員の1人がPCに綴った「銚電を助けてください」のワンクリックに、全国から1万件もの応援メッセージが届いたそうです。「PCはデジタルだけど、その向こうには温かいアナログの人たちとつながっている」ということが印象的でした。

成功例ばかりを紹介しましたがその何倍もの試行錯誤や大失敗があったはず。「地域鉄道の最大の使命は地域貢献です」竹本さんの力強いことが忘れられません。

◆新潟市中学校体育大会の結果◆

野球 対 新津第二

(惜敗)

対 上山

(惜敗)

個人 男女とも

(惜敗)

柔道 (男子)

団体 5位

県大会出場

陸上競技 (男子)

共通100m

4位

ソフトテニス (男子)

(惜敗)

200m

3位

団体 対 巻西 0-3 (惜敗)

400m

3位

ソフトテニス (女子)

(惜敗)

800m

7位

団体 対 上山 3-0 (勝ち)

四種競技

4位

対 小針 0-2 (惜敗)

●●

8位

個人 男女とも (惜敗)

4×100mリレー

1位

(●●、●●、●●、●●)

バスケットボール (女子)

(惜敗)

110mH

6位

対 五十嵐 14-73 (惜敗)

●●

8位

以上、県大会出場

バレーボール (女子)

(惜敗)

110mH

10位

対 小新 2-0 (勝ち)

2年100m

2位

対 関屋 2-0 (勝ち)

陸上競技 (女子)

共通100mH

2位

対 VC東新潟 0-2 (惜敗)

四種競技

1位

対 KIZAKI 2-0 (勝ち)

4×100mリレー

5位

対 セントラル ウィングス 2-1 (勝ち)

(●●、●●、●●、●●)

5位 県大会出場

以上、県大会出場

2年100m

2位

卓球 (男子)

●●

8位

団体 対 小針 0-5 (惜敗)

対 新津五 0-5 (惜敗)

柔道 (男子)

団体 5位

県大会出場

個人各階級

●● 5位

男子団体 (予選L)

対 小針

3-0 (勝ち)

対 白根第一

2-1 (勝ち)

対 小新

0-3 (惜敗)

男子団体 (決勝T)

対 坂井輪

2-1 (勝ち)

対 はちみつ jr 0-2 (惜敗)

対 東新潟BC 1-2 (惜敗)

団体ベスト8

男子個人

ダブルス

●●、●●ペア

ベスト16

女子団体 (予選L)

対 豊栄 jr 0-3 (惜敗)

対 木戸 2-1 (勝ち)

女子団体 (決勝T)

対 はちみつ jr 0-2 (惜敗)

女子個人 (惜敗)

剣道 (女子) ベスト16

●●

県大会出場

ご声援ありがとうございました。
選手の皆さん、お疲れ様でした。

令和7年6月27日 (金)

令和7年度 第5号

文責 校長 山口 靖博